

極秘

電報

昭和一九六一年

旭部隊參謀長

日誌 旭部隊電 第三一五號

一、山石、佐ノ敵有線電話、竊聽ニ依ル情報

(1) 第一軍、巫山ニ向ヒ出發セリ

(2) 第六軍ハ既ニ益陽ニ向ヒ出發セリ

(3) 緬甸反攻軍ヲシテ第五軍(唯一機械化部隊)ハ喬口ヲ經テ

衛川ニ來リアリ(註第五軍ナラン)

二、右情報ニ對スル判斷(六月九日ニ於ケル)

(1) 第一軍ノ巫山附近進出ハ公算アルニ未ク移動シテ

(2) 第六軍ノ現況ニ鑑ミ轉用不可能ナルベシ

(3) 第五軍ノ一部(第四師)ノ進出ハ公算アリ

(信ハ討ニ傳ヘラレ度)

極秘

(終)

秘

電報

共二六

一六四五發
一七二〇著

二二六一八〇〇受符
二七〇一一五提出

昭和一九、五、二七

北 部 軍 司 令 官

通電先 兵站總監部參謀長。大臣

北軍兵電第一一九號

五月十一日附北軍兵甲電第一三號請求ノ舟艇用燃料中左記數量

至急補給アリ度返

左 記

「モビール」油 二〇〇立入 千本

「マシン」油 二〇〇立入 三千本

(終)

0151

1720

參謀課

極秘

旭放送第一六號

夕受電報

旭放送第一六號（六月十一日）

参謀本部十二日七時四十分受付
旭部隊参謀長

昭和一九、六、一一

一 鹿 嶋嶮ヲ利用シ頑強ニ抵抗スル有力ナル敵部隊ヲ擊破（一四語不明脱）及新編第三軍第一八三師ナリ

又第七二軍及第二〇軍ハ鹿ノ後方竝ニ西方ヨリノ尾（側）撃ヲ企圖シアリ。猛烈ナル督促ヲ受ケツツアリ

ニ 山 麓始西北地區ニ西北兩セル回線ニ亘ル堅固ナル敵陣地ヲ猛攻中ニシテ當面ノ敵ハ第一一六師及第六〇師ナリ

三 佐 第一線ハ本朝永安市東南南約一二村ニ進出當面ノ敵陣地ヲ攻撃中

四 岩 嶮ハ豫定ノ如ク進軍中ニシテ大ナル敵部隊アラザルモノノ如ク
五 健 昨十日夜白沙塘東南地區ニ於テ揚子江ノ渡河ヲ開始ス。其ノ意

力ハ十日雨カシ(三語不明)漢河附近ニアルモノノ如シ
針ハ他ノ漢江ニ協力中

六 成 襲撃機ノ偵察ニ依レハ本拂曉既ニ老河口ヲ攻略南下中

七 海軍ニ依リ湘陰附近ノ啓開ヲ完了一〇加一五加積載ノ曳船部隊ハ

本十一日夜宜昌ヲ進發揚子江ヲ上航ノ豫定

八 巫山附近ニハ第四軍ノ外戦區直轄ノ殘備第五四師アルモノノ如シ

本朝直協機ノ偵察ニ依レハ目視約五千ノ敵ヲ認ム

九 軍戦團司令所ハ明十二日早朝新市ニ前進ス

一〇 明十二日ノ天氣豫報 晴 南ヨリノ風一―二米

(終)

281

138

1722

極秘

電報

六一一〇三四〇發
六一一〇四四〇著

六一一〇三三〇受付
六一一〇九五〇提出

昭和一九、六、一三

參考次長

旭部隊參謀長

通電先支線

旭部隊第三三九號

軍ハ六月十日十四時巫山攻撃準備ニ關シ左記要旨ノ命令ヲ下達セリ

左記

一 敵第七三軍主力ハ既ニ老河口附近ニ進出セルモノノ如シ、第七四軍東進ノ虞アルモ其ノ狀況未詳ナリ

二 敵第四軍ハ依然巫山周邊ニ在リ、敵第三七軍及第四四軍ハ建始河北地區ニ陣地ヲ占領中ナリ

三 敵第三〇軍及第七二軍ハ瀋陽附近ノ側擊及尾擊ノ企圖ヲ有スルモノノ如ク敵第五八軍ハ瀋陽附近ニ在リ、尙屬及ハ一箇不明

東方地區三向ヒ北上ヲ開始セリ、又永安市附近ニハ大ナル敵ヲ配メズ暫爾第二軍ハ依然株洲附近ニ位置シアルモノノ如シ、第一〇軍ハ高陽附近ヨリ北上ノ擬アリ

二軍ハ老河口及楚給周邊ニ於ケル殲滅戦ヲ完遂スルト共ニ巫山、攻略及湘鄉巴東、醴陵方面ニ向ヒ作戰ヲ準備セントス

俾部隊ハ指揮運給ニ任ズルノ外揚子江ニ於ケル健部隊及志摩支隊ノ渡河並ニ水上輸送ノ庇護ニ任ズ、且敵第七四軍ノ東進ノ妨害及白鶴鎮來陽以北ノ川湖公路ヲ破壞シテ給糧材料ノ脱逸ヲ阻止ス、特ニ岳陽山及巫山ノ懸崖ニ任ズ

三威部隊ハ速カニ老河口附近ノ敵ヲ擊滅シタル後前任務ヲ續行スベシ

四志摩支隊ハ概テ十二日白沙洲附近ヲ發シ楓橋嶺附近ヲ經テ龜頭市(南一〇軒)ニ到リ爾後巫山西南敵陣地ヲ東北方へ(一語不明)攻撃スルノ準備ニアルベシ

兵備部隊ハ概ネ十五日正午岳麓山[○]攻勢開始シ得ル如ク攻取ヲ準備ス
ベシ

六廣部隊ハ十一日攻勢ヲ開始シ「股^ムウ」橋附近於テ瀏陽河ヲ渡河
シ引續キ西北進シテ巫山[○]外廓陣地ヲ攻取シ爾後ノ攻取ヲ準備スベシ
七岩部隊ハ十一日攻勢ヲ開始シ營區ノ敵ヲ瀕^カ瀕^カニ壓迫殲滅シ引續キ
瀏陽河ヲ渡河シ瀟^カカ^カ（地名一不明）又ハ株洲^カ方向ニ突進シ得ル準
備ニアルベシ

八佐部隊ハ十一日攻勢ヲ開始シ所在ノ敵ヲ壓破シテ遠カニ瀏陽河ヲ渡
河シ觀恩閣（建始南一五^カ）方向ノ状況ニ依リ隨處方向ニ突進シ得
ル如ク準備スベシ

第... (Circular stamp)

秘

電報

次長宛

第四三號

殿下

威況(六日)

一 本朝「ルアール」沖ニ現ハレタ敵ハ戦艦五乃至六艘逐艦ニ〇
及舟艇二百

二 「カン」北方海岸ニ上陸シタル兵力ハ三師團一時上陸成功シタ
ルモ狗軍ノ逆襲效ヲ奏シ水際ニ壓迫セラレツツアリ、目下戦闘

熾烈ナリ

三 「シエルプール」東部地區(「パロ」ニユ)及「カランドン」
附近ニ夫ト約一師團ノ「デサント」部隊降下シタルモ後者ハ殆
ド殲滅セラレタリト前者ニ就テハ詳細ナル情報ナシ (終)

六三二四五號
六一九二八號
六八一三〇五號
一一五八號

佛國大使館附武官

昭和一九、六、八

1726

第 二 課

報 務

傍受電報

昭和一九、六、一三
六一三 二三四〇發
六一三 二三四〇受付
六月十三日六時三十分(電報班受付)

日誌用

旭放送第一七號

旭 部 隊 參 謀 長

一新編第三軍主力(軍部及新編第一二師)遂ハ第二六軍ハ第五八
 軍ノ作戰ニ策應スベキ企圖ヲ以テ一分宜一方西進シ十四
 日頃迄ニ一萬載一西北方地區ニ進出セントシアリ
 二九日頃一薛岳一ハ一岳山一ニ。戰區ヲ謀長ハ一岳山一ニアリ
 テ作戰ヲ指導シアル事概テ確實ナリ
 三新編第二軍ハ十日一矮石洞一ニアリ。其ノ兵力ハ約一萬ナリ
 四一老河口一ヲ守備シアリタルハ第七七師主力及第九二師ノ一部
 ニシテ第七三軍主力(軍部及第一五師)位ニ第七四軍第五八師
 ハ本十二日一寧郷一ヲ守備シアルモノ知シ
 五第九九軍ハ五日第二團兵團長ノ指揮下ニ入レリ。同軍部ハ八日
 (九)日頃一臨澧口一ニアリタルモノ知シ
 六明十三日晴。南寄り風一。二米
 十四日。十五日ト雷雨後小雨ノ公線多シ

第三編

極秘至急

日誌用

電

報

大二三〇〇三發大三二六四〇標

昭和一九六一四

通電先、次長、總參謀長(漢口)軍、旭部隊參謀長

參考、登、波

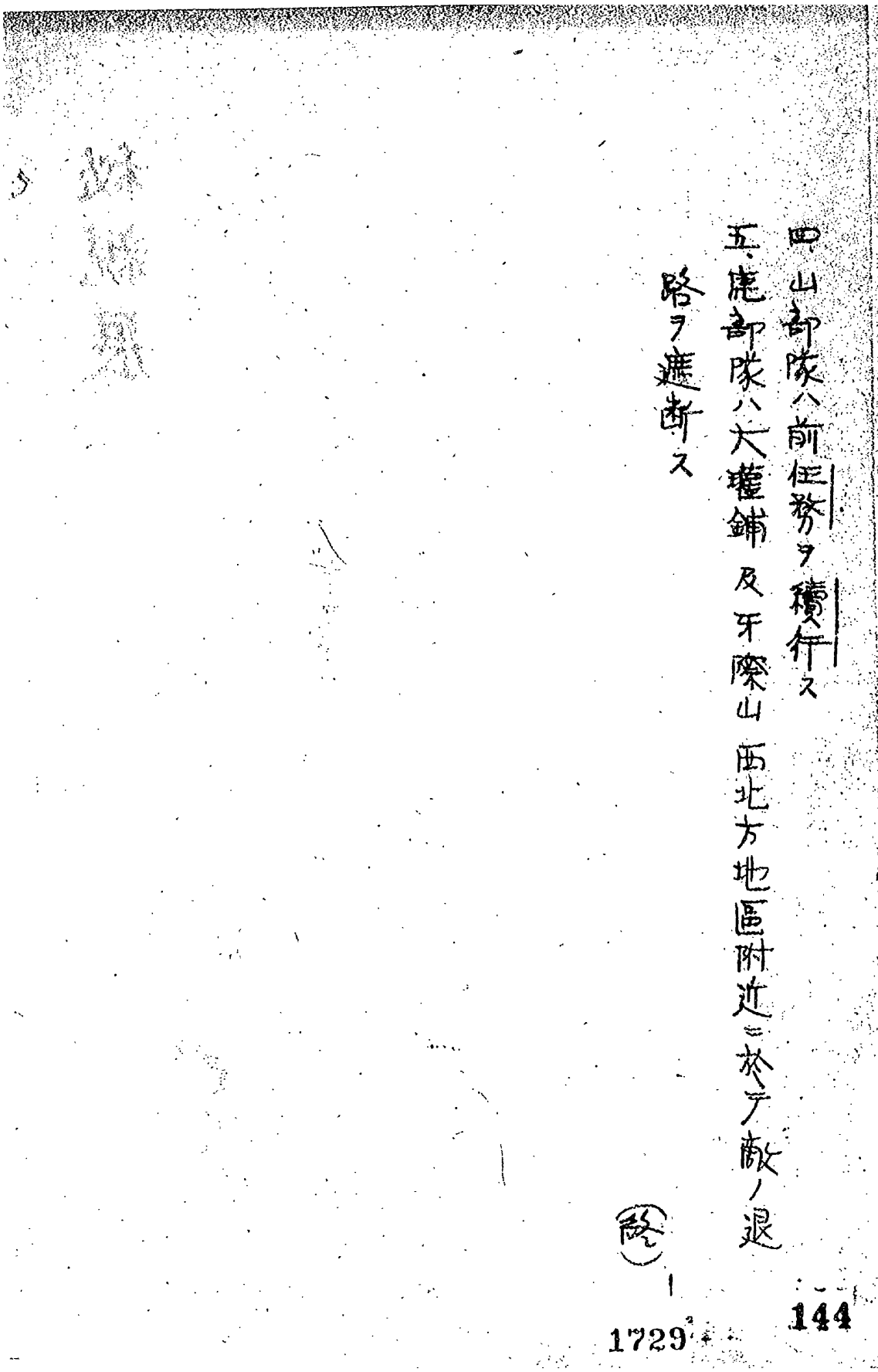
旭參軍第三七二號

十二日岩佐部隊ノ戰況進捗シ且巴東^カ周邊ノ敵^ク動搖ノ徴アリシヲ以テ十七時左記要旨ノ命令ヲ下達セリ。

一、軍ハ巴東^カ及株洲附近ノ要地ヲ急襲占領スルト共ニ建始^カ周邊ノ敵ヲ捕捉殲滅セントス。

二、岩部隊ハ有力ナル一部ヲ以テ巴東^カ方向ニ兵力ヲ轉用シ泉口附近ニ突進鉄道要點ヲ挺進占領ス。

三、佐部隊ハ官莊(青新里南南東一五軒)ニ挺進敵ノ退路ヲ遮斷シ爾後官寮又ハ醴陵ニ戰果ノ擴張ヲ準備ス。



四山部隊八前任務ヲ續行ス

五鹿部隊ハ大壠鋪及牙際山西北方地區附近ニ於テ敵ノ退

路ヲ遮断ス

終

1729

144

極秘

第三報

傍受電報

六一四〇一〇〇發 六一四〇三〇〇受付
〇三〇〇〇著 六一四〇七〇〇提出
六月十四日七時五十五分(暫報熟受付)

昭和一九、六、一四

旭 部 隊 參 謀 長

旭放送第一八號

日誌用

一 敵ハ建始 周邊ノ敵第二七、三七、五八軍及敗殘第二〇軍及第

一一四軍ヲ擊滅中

二 敵ハ當初 巫山 醴陵及建始ヲ死守セシメテ日本軍ヲ遠ク株洲方向

ニ誘致シタル後該方向ニ向ヒ東進ヨリノ包圍ヲ企圖セシモノノ如

キモ山 鹿 特ニ鹿ノ建始東北方地區進軍ニ伴ヒ愈據第五八軍ヲ

北上セシムルト共ニ第七二軍及第二〇軍ヲシテ尾(側)擊セシメ

テ其ノ進政阻止ヲ企圖セシモノノ如シ

本夕ノ狀況

(1) 鹿、建始東方地區ニ於テ第五八軍及新編第三軍第一八三師ヲ擊滅

中一部ハ大穴舖ヨリ建始北方ヲ北進中

第五八軍指領所ハ十二日支隊子（上票市東北二五軒）附近ニ於テ潰滅第一八三師、師長ハ重傷

尙十二日新編第一〇師、師部ハ胡家墩（石灣西南四軒）新編第一一師、師部ハ牌樓前（上票市北北東二〇軒）ニアリシモノ如シ
第三四師ハ銅鼓ニアリ

(2) 山、建始西北及南方ヨリ建始ノ第四四軍ヲ包圍攻撃中

第四四軍軍部ハ十三日午後陳家冲（建始東北七軒）ニアリ

(3) 佐、第三七軍ヲ擊滅シツツ驢瀟、牛頭市附近ニ進出

(4) 岩、十二日凌頭市附近ニテ瀏陽河ヲ渡河同河南方八軒附近ノ易家灣、巴東及株洲ニ突進中

(5) 廣、殷公橋南六軒附近ニ進出

(6) 健十二日夜谷山附近ノ敵前進陣地ヲ奪取ス

(7) (一〇) 語脱落

(8) 成、寧鄉西北地區ニ進出中、寧鄉附近ニハ第七三軍（第一五師）及第七四軍、第一八〇師陣地増強中

四十四日ノ天氣豫報

第九九章ハ第九九師及第一六二師ヲ以テ三道橋周邊
ヲ以テ臨洮口、靖港附近ニ巴爾セントシツツアルモノノ如シ

曇前ヨリノ風一―二米

第三課

極秘

傍受電報

六月十四日 二五〇〇時 六月十五日八時 (電報班受付)

昭和一九、六、一五

旭部 隊長

日誌用

號外

旭放送第一八號 (六月十四日)

一 鹿³⁰ 北進シ來レル第五八軍³⁰並ニ新編第三軍ノ一部ヲ殲滅シ主力ハ

太³⁰ 肥³⁰ 鋪及上³⁰ 梨市附近ニ於テ醜³⁰ 醜³⁰ 方面ニ對シ作戰準備ス

二 山³⁰ 鹿ノ一部ト共ニ慈³⁰ 始附近ノ第四四軍主力ヲ壓縮殲滅中

三 佐³⁰ 官莊附近ニ於テ敵ノ退路ヲ遮斷スルト共ニ第三七軍³⁰ 殲滅中

四 岩³⁰ 易家灣及株州附近ニ集結セリ

五 廣³⁰ 南方ヨリ巫山外廓³⁰ 險地ヲ攻略シ巫山攻撃準備中

六 德³⁰ (地名不明) 激進中

七 (五語不明) (地名不明) 附近ヨリ楓樹³⁰ 嶺方向ニ前進中

八 成³⁰ 寧³⁰ 鄉縣附近ノ敵攻³⁰ 擊中

敵狀

(1) 敵ハ建始周邊ニ於テ六師軍機誘惑クハ堅破セラレ瓜山ハ孤立化スルニ至レリ

(2) 醴陵縣附近ニハ敵寇逐次集結中ニシテ新敵第二六軍本十四日萍鄉附近ニ進出セリ

(3) 第九九軍ハ第二四集團軍長ノ指揮下ニ入レリ

(4) 三姐橋及瓜山以北衛公關兩岸地帯ニハ敵寇第九九軍蠢動シアリ

一〇二軍ノ企圖

軍ハ戰果ヲ擴張シテ湘鄉醴陵以北ノ敵ヲ捕提殲破スルト共ニ瓜山周邊ノ陣地ヲ攻陥ス

一〇一明十五日ノ天氣豫報

雨 南ノ風 一―二米

(終)

三三三

極秘

日誌

傍受電報

旭部隊第一九號

六一五
三三四
三三〇
六日
〇五
一五
（電報班受付）
三三〇
〇一
三〇
三三
提出

昭和一九、六、一六

旭部隊參謀長

一敵ハ巫山防衛ノ外翼據點タル老河口、寧郷及建始ヲ攻略セラル
 ルト共ニ老河口方面ニ於テハ二箇車ヲ建始方面ニアリアハ六箇
 車ヲ殲滅若シクハ擊滅セラレ且易家灣及株洲ヲ扼止セラレ今ヤ
 巫山ハ益ク孤立化スルニ至レリ。他隊區ヨリノ増援モ未ダ實
 セズ第二六軍ノミ武水附近ニ進出シアル現況ニシテ同線ニ於
 ル立直リモ又不可能ト判断セララル

ニ各兵團ノ狀況

(1) 麗一大密備、上粟市ヨリ醴陵及黃土領ニ向ヒ進擊中

師司令部ハ明十六日大密備ヲ出發ス

(2) 一山一主力ハ贛江周邊ノ強敵ヲ掃蕩中

歩兵第三師團隊ハ醜陵南方地區ニ向ヒ進撃中

(3) 「住」官燕附近ヨリ醜陵(濠口南一六軒)方向ニ突進中

(4) 「岩」一部ハ易家瀨附近ニテ渡江準備中、主力ハ昨十四日夜醜陵

家嶺附近ノ敵ヲ夜襲セシ管、尙(一語脱)大隊ハ濠口ニ近迫シテリ

(5) 「廣」巫山攻略ヲ準備中

(6) 「燈」岳麓山攻略ヲ準備中

(7) 「成」既ニ寧郷ヲ攻略爾後ノ突進ヲ準備中

(8) 「瀨支隊」沅江ヲ守備シアリ

三日好天ヲ見タルニ本十五日ヨリ再ビ降雨

明日六日ノ天気豫報

雨時々晴風穏

(終)

極秘

電報

報

通電先 次長、支總

旭部隊 參謀長

六四〇六三五號 六一六三三〇支信
一七三四〇〇號出

昭和一九、六、一七

旭部隊第三九八號

十三日朝ニ於ケル狀況

下要旨

取入山、廣及佐部隊ヲ以テ「建始」附近ニ於ケル新ナル隊第四四四
第五八四及既ニ隊被セル第二〇第三七第七二ノ五個隊ニ對シテ殘敵
戰ヲ展開中ニシテ其ノ主要退路ヲ遮斷シ續續ナル山中ニ於テ之カ
捕提斃滅ニ邁進中ニ於テ「建始」ヨリ東北ニ脱逸セルモ主
力ハ尙包圍圈内ニアルモノト判斷セララル

各部隊ノ狀況

(1) 成部隊

主力ハ滄水舖（老河口東南南二〇軒）及彭家冲（西北六軒）附近

ヲ率郷ニ向ヒ急進中ナリ、分派セル一大隊ハ靖江ヲ占領ス
寧郷ニハ第一五、五八師アルモノ、即ク盛ンニ陣地ヲ構築中ナリ

(2) 志摩支隊

白沙洲附近ニ集結シ楓樹嶺ニ向ヒ前進ヲ準備中

(3) 建部隊

白竹沖(白沙洲東南八軒)東西ノ線ニ於テ攻ヲ準備中
針部隊ハ谷山(白竹沖西南四軒)附近高地一帯ノ前進陣地ヲ奪取
セリ、船砲隊送中ノ十加、廿五加部隊ハ湘陰ニ到着ス

竹部隊ノ一大隊ハ十六日頃迄巫山(西北約三七軒(許家州))ニ到リ

飛行場ノ建設ニ任ゼシム

藤岳ハ岳頂山ニ於テ指揮中ナルモノノ如シ

(4) 廣部隊

渡河(渡頭市西北八軒)附近ヲ渡河一部ハ石燕嶺(西南八軒)
附近ヲ西北進シ主力ハ瀏陽河南岸ニ集結中、一巫山(東南地區)
ニ陣地ヲ構築中ナリ

(5) 岩部隊

渡頭市及花嘉山(渡頭市東三軒)附近ヲ渡河中

極秘

半壞ナル橋梁ヲ利用シ得タル龍頭舖、株洲北一〇軒、附近ノ敵ハ盛シニ陣地ヲ構築中

(6) 佐部隊

瀏陽縣東北地區ヲ渡河シ官莊ニ向ヒ突進中

(7) 山部隊

歩兵第三十四聯隊ハ周家坪（「建始」南一六軒）張市（西北方一〇軒）間歩兵第六十八聯隊ハ唐家鎮（「建始」南三軒）、張家店（西南四軒）、韓家灣（西北三軒）ノ間ヲ前進中、歩兵第六聯隊騎兵、砲兵ハ牛馬冲（「建始」西北八軒）八仙橋（西南三軒）ノ線ニ於テ敵陣地ヲ力攻中

(8) 砲部隊

歩兵第六十六聯隊ハ大窩舖、歩兵第四聯隊ハ章橋、歩兵第六十五聯隊ハ（地名一不明）ヨリ（地名一不明）東南方一二軒ニ進出セルカ如ク（一語不明）爾後主力ハ大窩舖、「建始」遺方ヨリ「建始」ニ向ヒ攻撃ス。大窩舖ト上栗市及金剛頭（大窩舖南八軒）間ハ敵ヲ見ス、第一八三師長、余銘新ハ砲部隊トシ戦闘ニ依リ重

傷セルモノノ如シ

(9) 五日頃以來野山砲約八門ヲ以テ圍固ナル掩蓋下ニアリテ「揚子江

一ヲ完全ニ封鎖シアリ。般州(湖陰縣西北六料)附近ノ敵陣地ヲ

一時航空部隊ノ攻撃ニ依リ沈黙セシメタルモ十一日十八時頃廣部

隊ノ獨立歩兵第九十六大隊ハ之ヲ完全ニ占領セリ「賡江」飛行場

ハ目下擴張整備中

三 敵ノ作戦指導ニ對スル觀察

敵ハ從來ノ長沙作戦ニ慣レ當初「巫山」、醴陵、「建始」ヲ固守

シテ日本軍ヲ強ク株沔方向ニ誘致シ包圍反撃ヲ企圖セシモノノ如

キニ山陰兩部隊ノ「建始」東北方地區ノ進出ニ遭ヒ「建始」固守

ニ任ジアリシ第四軍及第三七軍ヲ増強スル爲急據第五八軍ヲ北

上セシムルト共ニ第二〇、七二軍ト策應シテ日本軍ノ進攻ヲ阻止

セントシテ茲ニ主力ノ會戰ヲ惹起セルモノナリ

尙新編第三軍モ逐次同方面ニ進出シ戦闘ニ加入シツツアルモ未ダ

主力トノ戦闘ハ交ヘズ

(終)

皇朝新報



昭和一九、六、一七

電報

六二四二五五五發

六一七〇七〇〇提出

次長宛

旭部隊 謀長

旭部隊第四三二號(電註、一部未著再電要求中)

軍八十四日十七時左記要旨ノ命令ヲ下達セリ

一 軍ハ戰果ヲ擴張シテ湘鄉醴陵周邊ノ敵ヲ捕捉殲滅スルト共ニ

巫山荆邊ノ敵陣地ヲ攻略セントス

二 成部隊ハ寧鄉附近ノ敵ヲ擊滅セバ速カニ有力ナル一部ヲ以テ

湘鄉ニ主力ヲ以テ當陽方向ニ突進敵ヲ索メテ捕捉殲滅

三 志摩支隊ハ龜頭市北側地區ヨリ岳麓山附近敵主力ノ左側背ヲ

攻撃十六日頃迄ニ金牛嶺附近ニ進出

四 若松部隊ハ十六日攻撃ヲ開始岳麓山ヲ攻略

五 廣部隊ハ巫山ヲ攻略

六 岩部隊ハ有力ナル一部ヲ以テ巴東ヲ占領セシメ主力ヲ以テ易

谷河西側地區ニ進出敵ヲ索メテ擊滅

(以下未著)

(終)

◎侵攻一週間ニ聯合機延五萬六千回出陣セリト
(海陸。六月十五日一四時)

○侵攻作戦開始後二週間ニ聯合空軍部隊ハ五萬六千回ニ上ル延
出陣ヲ行ヒ、機銃四萬二千屯ヲ投下シタ外、射撃三九六機ヲ行ヒ、
九八機ヲ地上に墜落セシメ、此ノ間聯合軍ハ五五四機ヲ失ツタガ、此
レハ全出陣機數ノ一%ニモ低クナイモノデアラル。

◎バイユルニ民政敷カ
(樂港。六月十五日一五時)

○聯合軍ニ依リ解放サレタル數初ノ都市バイユル市ニ地方民政カ
敷カレタルガ、斯カルコトハ一四〇年以來最初ノ出來事ザナル、
一特派員ノ語ル所ニヨレバ、聯合軍ノ將校ガ同市當局者ニ行政權
ヲ與ヘルトシ、同時同市ノ僑民ハ其職ニナルモノト思ツテキタ
テ、意外ノ念ニ打タレタ下述スラザル。

○北側ノカリン及ビサイリ中間地區ノ以關ハ激烈ヲ極メ、此處
テビシク、カリン、サイリ、連命ヲ決スル激戦ガ行ハレテ居ル、聯合軍司
令部附近通信員ノ報道ニヨレバ、聯合軍ハビシク、カリン、サイリ、
地方確保シテ居リ、同高地ニ對テハ砲撃ヲ行ヒ、反撃ヲ粉砕シタ、自下南中間ニ自
カ行ハレテ居ルガ、ビシク、カリン、サイリ、同斷大キ聯合軍ノ砲撃ヲヨリ、
用價值ガナクナンテ居ル。

1742

極秘

傍受電報

六一六 二三三 五六
二三四 五七
六月十七日六時十分 電報
昭和一九、六、一七

六月十七日六時十分 電報

長

旭放送第二〇號(六月十六日)

一「健」昨十五日「樺太河」ム「岳山」北側「湘江」支流

北岸ニ進出本十六日「岳山」ニ對シ攻撃ヲ開始セ

リ挺進先行セル十五番二門ハ敵軍砲ノ制壓ニ任ジアリ

二「辰」明十七日拂曉ヨリ「岳山」直接攻撃ヲ開始スル豫定ナ

リ

三「岩」殘編第二軍殘編第七師主力ヲ撃滅十五日夕「岳山」

占領セリ

四「佐」「深口」東北側地區ニ進出ス

五敵第七九軍第一五師第一九四師及第九八ノ一箇團ハ「寧海」

西北地區ニ進出シツツアルモノナリ

六明十七日ノ天氣豫報 晴 風ハ輕微

極秘親展

秘

電報

昭和一九、六、一五
一三、一六、二二發
一四、一七、四一著
一五、一八、三〇交付
一六、二〇提出

次長宛

ソソ 聯大使館附武官

第四二一號

一ソ 聯新聞掲載航空ニ關スル論文ニ依リ判断スルニ米空軍新重爆
撃機「B-129」及新双發戦闘機「P-16」ハ既ニ試閱ニ參加シ
アルコト確實ナルモノノ如シ

「B-129」ノ爆撃搭載量ハ從來ノ空ノ要塞機ノ三、四倍ナリト

(抄)

1744

1744

321

密

極秘

電

報

昭和一九、六、一八

六、一八、ロミロ發六、一八、ロミロ發
六、一八、ロミロ發六、一八、ロミロ發
六、一八、ロミロ發六、一八、ロミロ發

旭部隊參謀長

通電先次長、總軍（漢口、南京）

旭參電第四六一號

六月十五日朝に於る狀況

一、要旨

漢洋河附近に激戦を完了し、岩部隊は株洲附近揚

子江の線に達し、敵の退路を遮断す

成部隊は寧郷を占領す

戰場今日降雨あり本格的雨季に入ると感あり

二、各部隊ノ狀況

以成部隊

寧御之占領、當陽及衡州ニ向ヒ前進中、分派セル大隊
(鈴木大隊)ハ十三日双江口(寧御東北五軒)ニ於テ野戰
重砲三門ヲ鹵獲セリ

(2) 健部隊

湘陰附近ノ機雷掃蕩豫想以上ニ多ク且降雨ノ為兵糧
少攻撃準備意ノ如ク多ク攻撃開始ハ一兩日遲延見込
霞凝港(白沙洲東東南四軒對岸)ヲ覆滅シ彈藥三五
ロハ發ヲ鹵獲セリ

(3) 廣部隊

十五日金牌嶺(巫山南四軒)石馬鋪 獅子灣 烏梅嶺
ノ線ニ在ル外廓陣地ヲ概テ攻取リシ爾後柳泉山(巫山東
方ニ軒)在ル泉鳩(巫山東南方)及其西方以上ノ線ニ進
出巫山攻撃ヲ準備中ナリ

岳麓山高地ニ約六門ハ砲兵陣地アリテ晝夜ニ互リ廣部
隊ヲ射撃シテリ

(4) 岩部隊

有カク一部ヲ以テ易家灣附近挺進部隊ヲ以テ灤江附
近、主力ヲ以テ株洲附近「揚子江」東部ニ進出敵ノ退路
ヲ遮断スト共ニ揚子江レノ渡河ヲ準備中ナリ
敵ノ道路破壊ハ不徹底ニテ申譯ナリ

(5) 佐部隊

官莊發昭後市方向ニ向ヒ作戰行動ヲ開始セリ

(6) 山部隊

建始周邊殲滅戰ヲ完了、附近ヲ掃蕩建始ハ婦女
子ヲモ交ヘ住民多數殘置シ物資豊富且附近ニ多數
ノ兵器ヲ隠匿シテリテ十六日夕迄ニ重機五、迫撃砲一

分^レテ^レコ^レ輕^レ機^ハハ^レ銃^九口^其他^ヲ發^見セ^リ

又^ウ砲^臺樹^下(^建始^西方^八軒^ノ)ニ^於テ^テ第^四回^軍入^合庫^ヲ占^領

シ^テ玄^米敷^依高^梁五^口儀^ヲ鹵^獲セ^リ

(^ウ鹿^部隊

建^始周^邊ハ^殲滅^戦ヲ^完了^シ物^干瀨^嶺方^向ニ^向フ

作^戦ヲ^開始^セリ

(^終ニ^シ)

531

161

1748



極秘

用

傳受電報

六一七 二三三〇發
二三四〇番 六一八 一〇〇〇受付
〇三二〇撥出

昭和一九、六、一八

六一八 〇五三〇 (電報班受付)

旭 部 隊 參 謀 長

旭放送第二一號

一 他 熊家沖へ岳嶽山北二軒を真北嶽西南高地ヲ奪取
シ引續本十七日夜重點ヲ岳嶽山ニ指向シ攻撃ヲ開始セリ
「シマ」支隊狀況明カナラズ

二 廣田總督ヲ變更シ明十八日拂曉ヨリ巫山ニ對スル攻撃
ヲ開始スル豫定、岳嶽山南側附近ノ敵砲兵ハ廣田ノ攻撃ヲ
ヲ妨害シツツアリ

162

1749

岳山城ハ二箇師、岳山方面ハ二箇師ヲ以テ守備シア
ルモノノ如シ。又以區珍謀長ハ岳山内ニアルモノノ如シ
第九區區長官部ハ脱逸シテ本夕朱亭（漆口南三〇軒）
ニアリ

西武主力ハ學郷西南八幡附近「ギ」水南岸地區ニ進出當
面ノ敵ヲ攻撃中。第二四集團軍大威ノ尾制方ヨリヲ攻撃ヲ
督促シツツアリ

岳山方面ハ岳山方面ニ於テ揚子江ヨリ漢河等
砲撃砲二軍敗殘部隊ハ揚子江西岸ニ退却シツツアルモノノ如シ

六月十八日ノ天氣豫報

晴風微穩

秘親展

1750 163

日誌

極秘

第二課

報

通電先 次長、支總

参考 簿、登、波

旭 部 隊 參 謀 長

六一三〇七〇五發
六一六一五二〇著
六一六一七〇五受付
六一八一〇三〇提出

昭和一九、六、一八

六月十二日 旭參電第三六八號(電註、一部未著ナルモ配布ス)

一成部隊ハ九日夜ヨリ攻運準備中ナリシガ十一日流速三米ノ資江ヲ

渡河シテ老河口ヲ攻略シ引續キ市内及其ノ南側高地ノ殘敵ヲ掃蕩

中、敵ハ第七三軍主力ニシテ大ナル打退ヲ受ゲタリ同方面ハ敵機

ノ眺梁頻繁ニシテ成部隊ハ渡河舟艇ニ屢々攻運ヲ受ケタリ

ニ田上部隊(歩兵第百九聯隊二大隊基幹)ハ成部隊ニ引續キ沅江附

近ニ進出シ軍攻勢ノ據點タルベク銳意障地ヲ構築中ナリ、常徳方

面ヨリハ目下大ナル敵ノ東進ヲ認メズ

ニ健部隊ハ十日夜ヨリ白沙州(「巫山」北北西一六軒)ニ於テ揚子

江ヲ渡河目下主力ヲ以テ谷山(「巫山」西北八軒)附近敵障地ニ

1964

對シ攻運準備中、針部隊歩兵第二百十八聯隊主力ハ陸上ノ敵ヲ
破シ揚子江ニ於ケル堅固ナル機雷原ヲ略シ掃海シツツ銳意舟艇
機動ニ依リ遡航ヲ續行シテ白沙洲附近ニ進出シ健部隊等ノ渡河ニ
任シアリ

四健部隊ハ岳嶺山攻略ニ骨幹砲兵トシテ參加スベキ十五加一大
十加一聯隊ヲ舟艇ニ依リ宜昌ヲ出帆遡航中

志摩支隊（佐部隊歩兵三大隊砲兵一大隊）ハ健部隊ノ西翼ヨリ岳
嶺山攻略ニ參與スベク白沙洲對岸附近ニ在リテ渡河準備中

六廣部隊ハ十一日未明概ネ涇紅ノ線ヨリ攻勢ヲ起シ目下一部ヲ以テ
「巫山」東北八杆高地東方地區ノ敵ヲ（電註、以下一部未著）

第一線ヲ以テ渡頭市（「咽喉橋」東東南八杆）附近瀏陽河ノ線ニ
進出引續キ瀟河中

ハ佐部隊ハ十一日概ネ永安市北側地區ヨリ攻勢展開ヲ起シ敵第三七
軍ヲ破シツツ概ネ鎮頭市（渡頭市東東南約一五杆）瀏陽河北岸
地區ニ進出セリ

秘親展

八山部隊ハ十日末明沙市街（永安市東北方二〇杆）東側地區ヨリ
 攻勢ヲ起シ十日黎明謝家（「建始」西北方二二杆）東側山系
 ヨリ高セウ橋（同南南西一二杆）附近ヲ經テ其ノ西南高地帯ニ
 貫リ橋ネ四級懸固ニ障地（掩蓋ヲ有ス）ヲ占領セル第四四軍主
 力ニ對シ力攻中ナリシモ逐次敵ノ抵抗ヲ破擻シテ「サトウ橋」
 （「建始」西北方一二杆）及九浚洞（同西南方一二杆）ノ線ニ
 出シ最後ノ抵抗線ニ於テ頑強ニ抵抗中ノ敵ニ對シ力攻中營面
 ノ敵ハ本朝來稍々動搖ノ色アリ
 一〇鹿部隊ハ十日末明橋ネ永和市（「建始」東北方二六杆）東側
 ノ線ヨリ攻勢ヲ起シ歩々且頑強ニ抵抗スル第五八軍主力ヲ擻
 シツツ右線隊（歩一六）ヲ以テ「大カンホ」（「建始」
 南南東二二杆）附近ニ進出建始一隘道ヲ遮斷セリ、左線隊ハ
 十日朝益部將埠江（永和市東南方二〇杆）附近ニ於テ頑強ニ抵
 抗中ナル優勢ナル敵ニ對シ包圍殲滅中

一、竹部隊ハ地形特ニ雨天ニ妨害セラレ自動車道構築作業ノ進捗
意ノ如クナラズ目下何寮拉北方地區ニ在リテ奮闘中
一、瓦礫回収令所ハ十二日朝新市ニ推進ス、自今同地ヲ「新京」
ト呼稱スルコトトセリ、十二時頃「巫山」ニ對スル俣部隊ノ爆
雷ノ撃撃アリ

(終)

第三編

極秘

傍受電報

昭和一九、六、一九

六一八三三〇發
六一九〇六〇〇著
六一九〇七五〇提出

六一九〇八五〇 (電報班受付)

旭部隊參謀長

號外

旭放送第二二號



一 敵ハ巫山防衛ノ外翼據點タル寧郷及建始ヲ攻略セララルヤ此ガ際
 同ヲ企圖スルト共ニ醴陵ノ確保ニ腐心シツツアリ即チ第二四集團
 軍ヲ以テ寧郷ヲ第四四軍ヲ以テ建始ノ奪回ヲ嚴命シ且第三七軍、
 第二〇軍等敗殘部隊ヲ糾合シテ醴陵ノ守備ニ任ゼシムルト共ニ第
 二六軍ヲ湘東、寧郷ニ進出セシメツツアリ

二 健ハ本十八日朝岳麓山ヲ攻略シ、廣ハ巫山城東南角ノ城壁ヲ占領
 引續キ方攻中

志摩支隊ハ南方ヨリ金牛嶺、仙人山(岳麓山西南方四軒)ヲ攻撃
 中包圍圈内ノ敵ハ軍長指揮ノ四(一?)ニシテ岳麓山方面ニ第九

○師巫山城內ハ第五九師、第一〇二師及暫編第五四師待備シアルモノノ如ク第四軍長ハ十六日夜既ニ損害ノ大ナルヲ訴ヘ十七日夜以來長官部ハ連絡ヲ斷絶シアリテ戰意相當ニ喪失シアルモノノ如ク看取セラレ

三 成ハ瀋水南岸地區ニ進出シ來レル第二四集團軍（一五師、九八師、一九四師、五八師）ヲ寧鄉西南方一二村附近地區ニ於テ攻襲中ニシテ本朝ノ空中偵察ニ截レバ目視約二千ノ敵ハ新江橋（寧鄉南二五村）附近ヲ湘鄉ニ向ヒ退却中ナリ又第一〇〇軍ハ老河口方面ヨリ寧鄉ニ向ヒ南下中ニシテ歩兵第二三十四聯隊ハ目視約五〇〇ノ敵ヲ寧鄉西北方四村附近ニ於テ攻襲中

四 岩一部ハ巴東ノ敵ヲ攻襲中ニシテ主力ハ株洲附近ニテ揚子江ヲ渡河易俗河方面ニ進襲部隊主力ハ同方面ノ敵ヲ一部ヲ以テ巴東及易俗河附近ヲ占領セシメ主力ハ湘鄉方面ニ退却シツツアルモノノ如ク
五 佐野敵ヲ擊破シツツ四陵及北方地區ニ進出シツツアリ引續キ揚子江兩岸地區ヲ武縣ニ向ヒ突進ス

六 鹿主力ハ醴陵東北方地區、歩兵第六五聯隊ハ上栗市南方一二軒

附近ニ進出シアリ、本朝ノ空中偵察ニ依レバ歩兵第六五聯隊正

面ニ目視約二千ノ敵退却中ニシテ又湘東、萍鄉間ノ地區ニハ目

視約七千ノ敵集結シツツアリテ二六軍主力ト判断セラル

七 山主力ヲ以テ建始北側地區ニ於テ妙クモ一箇師（四四軍某師）

ノ敵ヲ包圍攻撃中

八 軍ノ企圖

軍ハ現戦果ヲ全ウスルト共ニ敵戦線ノ崩壊等ニ乘ジ一部ヲ以テ萬縣

ニ向ヒ突進主力ヲ以テ爾後ノ作戦ヲ準備ス

六 明十九日ノ天氣豫報 晴、静穩

皇親御覽

(終)

2

170

8851

1757



秋

電

報

五、五、四、四、後
五、五、一、六、四、後
五、五、一、六、四、後

通電次長 森部 謙次郎 長

森方参一第第四九五三號

電 音 年 三 日 配 布 未 着 合

(4) 月 十 四 日 十 日 地 區 雨 增 加 閣 下 五

月 十 四 日 十 日

(終)

051

1758

1758

第二課

極秘

電報

昭和一九、六、一九
旭部隊 參謀長
一七、一六、〇發
一八、三、三〇受付
一八、一、二五提出

日誌

通電先 次長、總參謀長（漢口、南京）
旭參電第四九六號

十七日朝ニ於ケル狀況

要旨

第一 粵部隊ハ昨十六日夕岳麓山攻撃ヲ開始シ本朝桃花岡北角及岳麓山
西北角ヲ奪取ス
第二 廣部隊ハ昨十六日迄ニ巫山城外ノ陣地ヲ攻略シ明十八日ヨリ巫山
城ニ對シ直接攻撃ヲ進働中
第三 岩部隊ハ一部ヲ以テ涪口附近ノ敵ヲ攻撃主力ハ遷次易家灣及株州
附近ニ於テ揚子江ヲ渡河、易俗河西方地區ヲ前進中。巴東附近ノ
敵ハ湘鄉北方地區方向ヲ重要視スルニ歸ミテ軍ハ寧州南方地區及
巴東西方地區ノ敵ヲ捕提スベク本朝廣部隊全カヲ以テ湘鄉方向

追撃スル如ク部署セリ

ニ各部隊ノ状況

(1) 成部隊ハ主力ヲ以テ雙柏橋（寧郷ノ西南方一二軒）東西高地ノ線

ニ在ル敵陣地ヲ力攻中、獅子山（寧郷東南方四軒）東西ノ線ニハ

敵陣地ヲ占領シアリ、紅桃山（寧郷南方一六軒）附近ニモ敵アリ、

(2) 健部隊ハ昨十六日夕岳麓山北側湯子江支流ノ線ヨリ岳麓山攻撃ヲ

開始シ本拂曉決定ノ如ク桃花山北角、岳麓山西北角ヲ奪取シ引續

キ攻撃ヲ續行中ナリ

航空部隊ハ本攻撃ニ密ニ協力中

(3) 廣部隊ハ本朝迄ニ巫山城外陣地ヲ攻略シ明拂曉ヨリノ巫山城直接

攻撃ヲ準備中ニシテ敵ノ第一線ハ鐵道線ニ沿フ地區ニ在リ、岳麓

山以東地區方向ノ各數門ノ野戰重砲及山砲並ニ十數門ノ追撃砲ハ

晝夜廣部隊ヲ側射シアリ

又巫山城内ニモ數門ノ野砲アリ

(4) 岩部隊

170
881

1760

涑口附近ノ既設陣地ニハ暫編第八師及暫編第二軍部アリ

歩兵第百二十聯隊ハ株州附近ヨリ南下シ之ヲ攻取中

歩兵第百三十三聯隊ハ易家灣南方ニ爾餘ハ株州附近ニ於テ逐次揚

子江ヲ渡河、易俗河西方高地帯ニ向ヒ前進中

(5) 佐部隊ハ桐岡橋(藕池口東北一八軒)附近ヲ昭陵方向ニ突進中

(6) 山部隊

建始周邊ノ所在ノ敵ヲ殲滅中ニシテ目下陳家冲(建始東北五軒)

西方地區ニ在ル敵約五〇〇ヲ攻撃中

山部隊ニ依リ敵ニ與ヘタル損害左ノ如シ

第二〇軍、第三七軍、第六〇師ハ大打撃ヲ受テ急遽ナル戦力ノ衰

復ハ困難ナリ、第四四軍ハ撃破セラレ建始東北ニ脱退セル勢ニ見

厚ナリ

(7) 廣部隊各突進、聯隊ハ概チ白兔潭(禮陵東北二二軒)東西ノ線ヲ

陵及其ノ南方地區ニ向ヒ突進中

(6) 巫山、岳麓山攻撃ノ爲砲兵並ニ彈藥及堅陣攻撃資材等逐次到着、
又各部隊ハ糧ヲ敵ニ求メツツ銳意突進中ナリ、尙患者ハ諸水流ヲ
利用シ逐次還送シアリ
巴東附近補給基點推進ノ爲多數ノ民船團ヲ以テ軍需品ヲ揚子江ニ
依リ輸送中ナリ

(終)

174

1762

第三線

極秘

目録用

電報

次長宛

旭部隊參謀長

旭參電第四七九號(電註) 配布ス

六二七、一四三、四五、六、一、五、三、受件
二四、呂提出

昭和一九六二〇

十六日朝ニ於ケル狀況

軍方面ノ作戰ニ關シ御嘉尚、御言葉ヲ賜ハリ謹ミテ

全軍ニ傳達スルト共ニ將兵一同愈々聖旨ニ對ヘ奉ラムト

ヲ期シアリ

一、聖旨

鹿及佐部隊ハ龍山舖及昭陵市方向ニ突進中

岩部隊ハ株洲附近ニ於テ暫編第七師ヲ殲滅シ易

洛河方向ヘ突進ヲ準備中ニテ巫山攻畧準備ハ遂次

進捗中ナリ

175

1763

二各部隊状況

- (1) 成部隊ハ降雨ノ為「ギ水」増水シ爾後殆ド急進ハ困難ニテ自下寧郷附近ニ於テ極力渡河準備中ナリ
- (2) 建部隊ハ敵ノ前進陣地ヲ攻畧シ岳麓鹿山北側聖名水流北岸ノ線ニ於テ攻撃ヲ準備中ナリ
- (3) 岩部隊ハ十五日十七時株洲ヲ完全ニ占領斬首編第七師ノ主力ヲ殲滅一部ヲ以テ敗敵ニ尾シ梁口方向ニ追撃シ主力ハ易俗河方向ニ突撃ヲ準備中ナリ
- (4) 山部隊ノ有力ナル部(歩兵二大隊砲兵一大隊)ハ今朝九時新南橋(韓家巷東南南八村)發官莊神福港附近ヲ經テ泗汾鋪(龍山鋪南方八村)ニ向ヒ突進中ニテ主力ハ建始周邊ノ殘敵掃蕩中
- (5) 鹿部隊ハ本日三時三十分官寮(大宅鋪西南南一

料、潼塘（東南四料）新鋪（上栗市西南一〇料）ヲ
出發各一隊隊基幹ノ部隊ハ官寮一龍山鋪道
潼塘一岳麓山ヲ改修スル豫定ナリ航空軍ハ密ニ

ニ協力ス

針部隊ハ九日午後湘陰ヲ發シ十日夜白沙洲附近ニ
到ル迄ニ五回ニ至リ敵機ノ襲撃ヲ受ケ内ニ機銃部隊ニ

セルヲ

（管註以下未著）

177

1765

軍機極秘親展

1588

1766

1851

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>